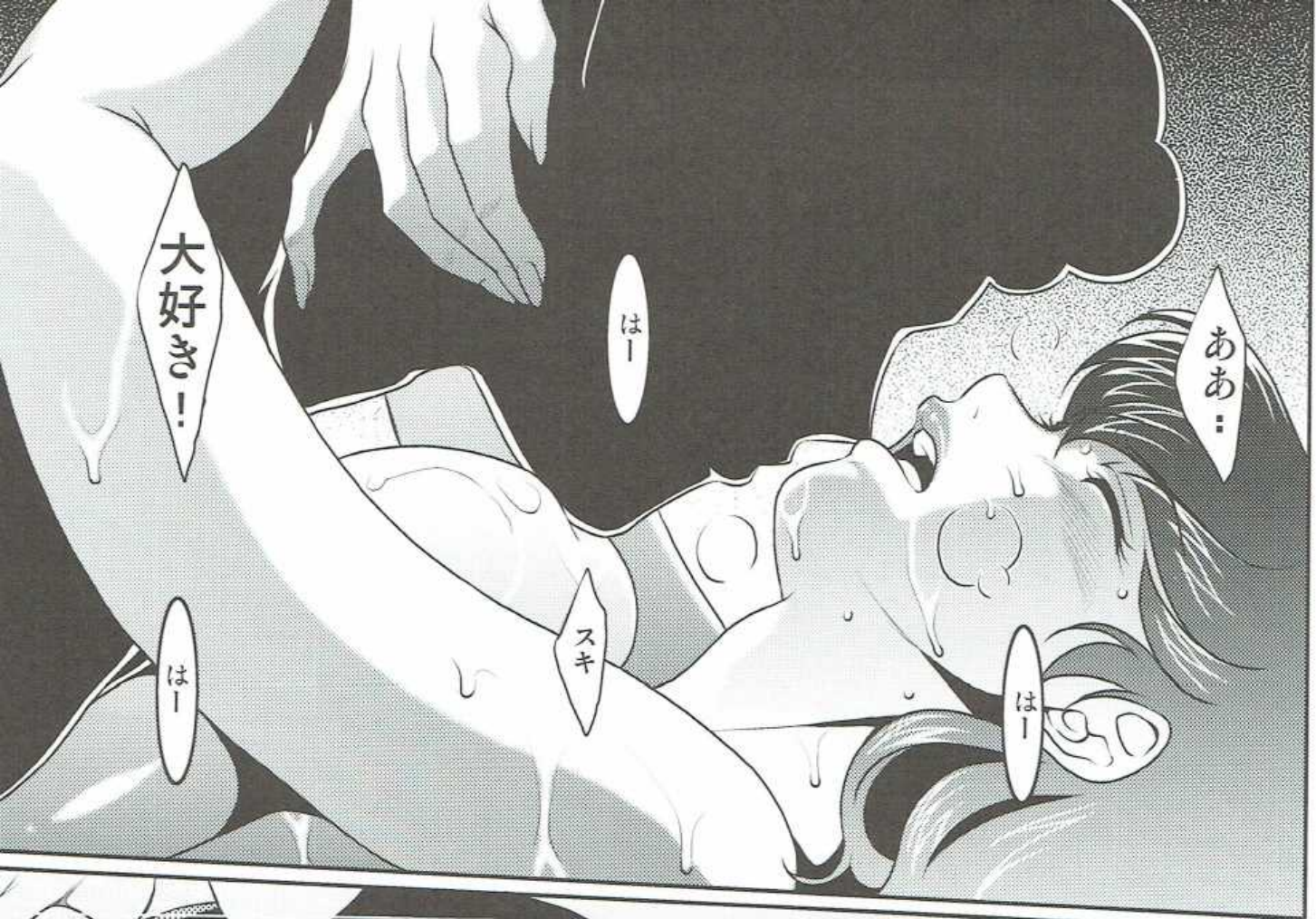




La Maison

vin trop jeune ?





ああ：

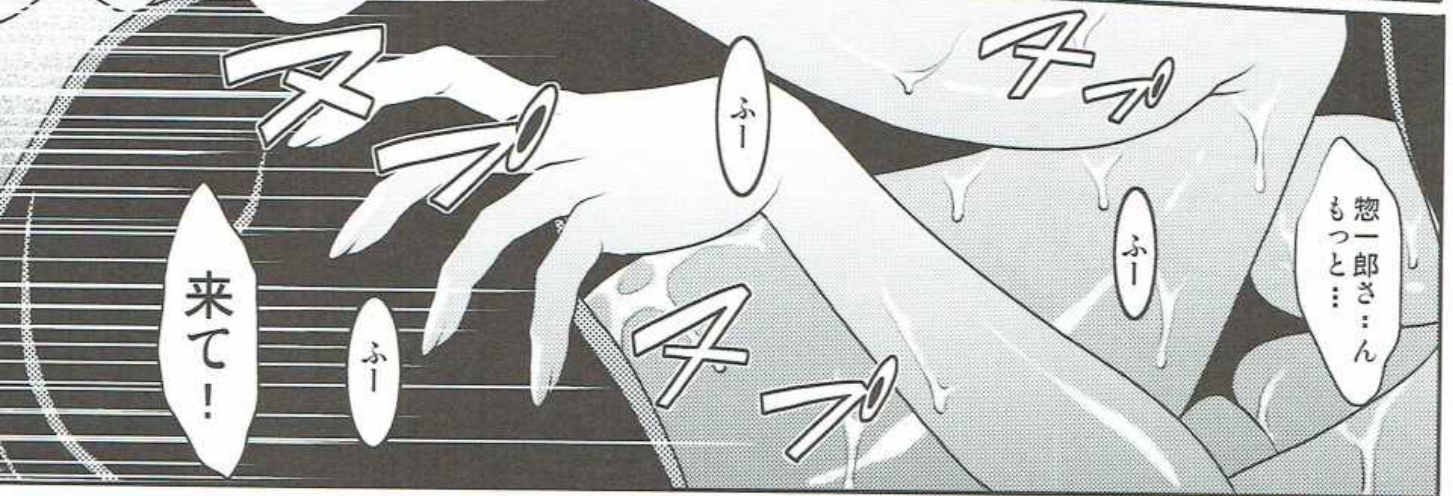
はー

大好き！

スキ

はー

はー



惣一郎さん
もつと：

ふー

ふー

来て！

ふー



奥まで：
もつと奥まで

わたしを
深く挟って！

ズ！！

ズ！！



ごめん...
もう限界だよ...

え?
も、もう?

響子っ...もうだめだ、
で、射精するよ!

ずちゅ
ずちゅ
ずちゅ



うん、いいよ...
そのまま射精して!

あなたの想い
私の瞳中に全部ふちまけて...

惣一郎さん!

La Maison vin trop jeune 2

ああっ…

愛しています！

あっ！

はあ…

貴方だけを、
誰よりも…

お腹の中に注がれる
熱い脈動があなたの
妻である事を実感
させてくれる。

私の中を貴方で一杯にして
惣一郎さん。
この先どんな事が有ろうとも
あなたへの愛は変わらない、
わたしは変わらない…

なんじゃもう終わりか？
だらしない奴よ。

性交時間が短いのは
雄としての精力が足り
ん証拠だな。

ワシも甘かったわい。
愚息とは言え可愛い我が子、
情けをかけてしようた。

跡継ぎは子作りの様子を見てから
と思ったが間違っちゃった。
やはりこいつに音無家の
将来を任せる訳にはいかん！

ガッラ

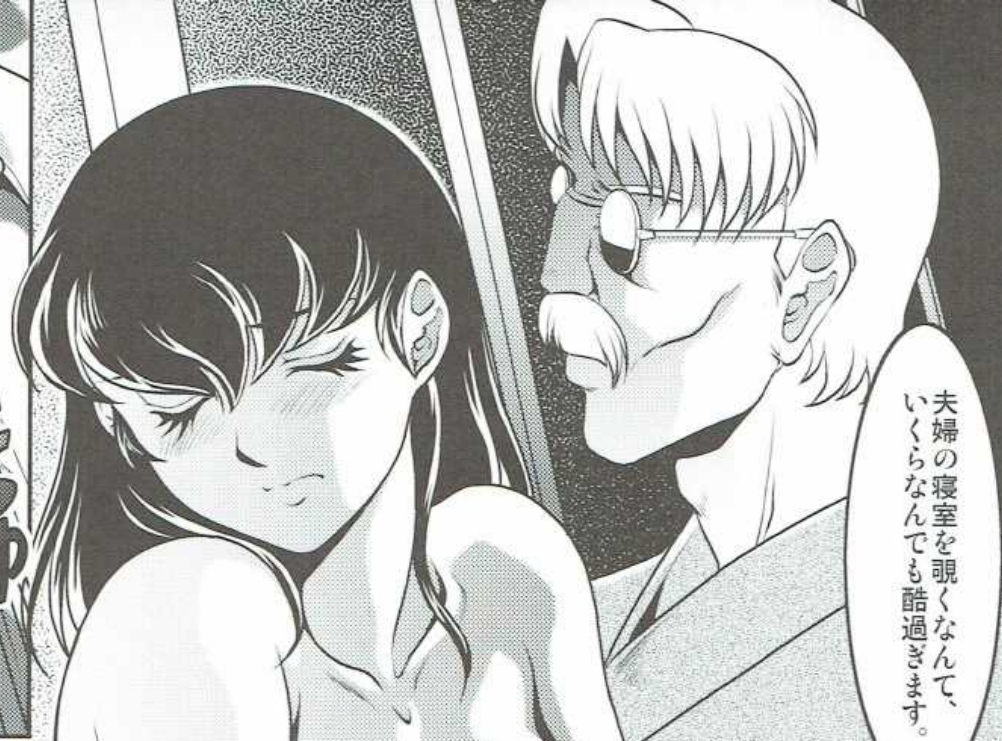
お、義父さま…！！

お前もそう思う
じゃろ？
響子！



男と女はカラダが満たされてこそよ!

くちゅ



夫婦の寝室を覗くなんて、いくらなんでも酷過ぎます。



ちゅっ

んっ!

みんんっ!

ちゅっ

ほれ、どうじゃ? ちよつと弄くるだけでメス汁がいやらしい音をたてて溢れ出る。

何を言うこれも音無家の将来を思つての所業じゃ。お前もあの様な性交では満足出来ていまい?

カラダが満たされとらん証拠じゃ!

くちゅ



お前は強い雄を求めておるのじゃ。

キッ

愛などと小ざかしい!

そんな事ありません! 私は心から惣一郎さんを愛しています。一緒に居られるだけで十分!



何しとるサツサと
啜えんか!

あん!



惣一郎との違い
その唇でたつぷり
味わえ。

どい



これを見ろ!
乳繰り合ってるお前らを
見ていたら年甲斐もなく
この有様よ。

このままでは寝る事も
ままならん。
響子お前が何とかしろ!

そ、そんな:

嫁が家長の世話を
するのは当然じゃ、
出来んとは言わせん!

おろろ!



先程まで啜え込んだつた
祖チンとはモノが違うぞ。
心して扱えよ。

ンツ!

ンツツ...

ふふ:
あいつとの行為は前儀
みたいなもの、
ワシが本当の男女の営み
を教えてやる。

...ングツ!



もつと奥まで啜えんか！
本物の雄の性器が
欲しかったんじやろ？
望み通りか臍の奥まで
掻き回してやる！

ング！
ゴツ：
グボツ！



男を味わうなら
これぐらい奥まで
啜えんと判らん
じやろ！

ンゴツ！

苦し...

ゴツ：

い、息ができな...

これがお前の欲し
がっている
強い雄の生殖器じゃ、
頭の中に叩き込んで
おけ！

形、匂い、温度
五感を使って
カラダに覚え
させるのじゃ

イヤ！
口の中がお義父さま
の臭いで一杯になっ
ちやう！

ングッ

雁首から裏筋まで舌で丹念にチンカスを舐め採るのじゃ。

うそ、私何してるの？

龟头を咥え尿道を思い切り吸い上げ先走り汁を飲み込め

こんなの本当は嫌なのは何で？

男を喜ばせるには喉全体を使ってマラを愛撫し扱き上げるのじゃぞ！

これからワシがたっぷり仕込んでやる。

：ングツ！

ニンン：

ンツ：

失望させるなよ響子。

お義父さまの言われるままにカラダが勝手に動いちゃう。

女の価値は男を如何に楽しませるかで決まる、お前にはその素質があるとワシは見えておるのじゃ。

ぐほっ ぐほっ



その惚けた面を
惣一郎にも見せてやるか、
奴めどんな顔をするかな？

どれ見せてみる！
ほくしい面構えじゃな。
待ち望んだチンホを啜えて
発情したメス顔になって
おるわい。

フー

フー

フー

フー



これでハッキリしたじやろ
お前にはワシのチンホが
必要なんじや。

ングツッ：ゴツッ！

じゃが気に病む事はない、
雌が強い雄に惹かれるのは
強い遺伝子を残そうとする
自然の摂理よ。

音無家の家長である
ワシに従っていれば
間違い無いのじやよ！

ンゴツッ！

判ったか響子！
お前はワシの子種で孕むのじや、
音無の血筋を絶やすで無いぞお！
：オオオオツッ！

どどっ



こぼすでないぞ、
残さず飲み込め！



ホホホ：
出るわ出るわ！
夫の薄い精液と比べて
ワシの濃い漢汁は
美味からう？
腹一杯喰らえよ！



ゲフッ！



惣一郎め、
嫁の躰がなって
おらんな！



何をしているまだ
終わってないぞ！
残りの精液を吸出
し後処理をせんか！

あつ、
いや、



これで子種を授けて貰う
のだ、感謝を込めて丹念に
しゃぶれよ。

ははい…
お義父さま。



仕方ない、
奴の代わりにワシが
嫁としての所作を躰て
やるぞ響子。

射精後の男根を舐め、
清めるのは情けを受けた者
の仕事じゃからな、
心しておけ。

わ：判りました。



ああ、早く終わらせないと
惣一郎さんが起きちゃう
かも？
こんな処見られるたら：



時間も時間じゃし
今日はその辺で良からう。

ご苦労じゃったな
響子。

よかった、
やっと終わった。

では、そこの壁に手を着いて
尻を向けろ！



えっ？

なんじゃ、
もう終わりだと
思ったか？

一回射精したぐらいでこのワシが
萎えるとも考えていたのか？
惣一郎なんぞと一緒にするな！

本番はこれからよ、
しつかり種付けしてやるぞ！

子袋が空になるまでな！

えーい！
とつとつ尻を差し出せ！

ぎゃー！

いや…お義父さま。

止めてこんな所で、
聞こえてしまいます。

アアッ！

イ、イヤー！

何を今更、お前らの情事を
ワシにあれだけ聞かせておいて
言う言葉か？
聞かれたくないのであれば、
お前が我慢すれば良いで
あろう！

惣一郎との違いを
カラダに刻み付けてやる
響子！

もっとも
コイツを喰らって
我慢出来たらばの
話じゃがな。

…アアツ！
アン！

ヒツ！

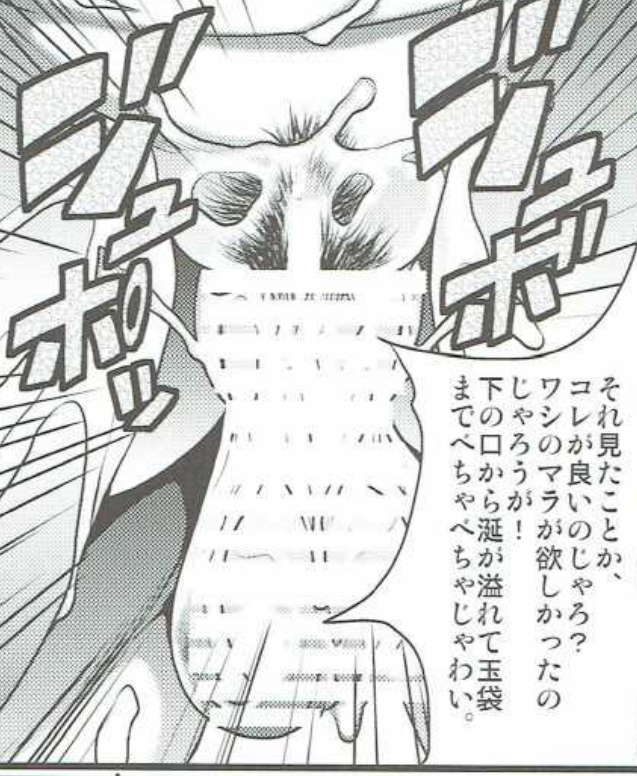
ンゴツ！
ングツ！

それで何時まで
耐えられるかのう？
試してみるか！

如何した、
声が出ておるぞ。
聞かなくてはマズイの
ではないか？

ほれ、こっちを向かんか！
交尾快感にうれし涙を流す
メス顔を見せてみる。

それ見たことか、
コレが良いのじゃろ？
ワシのマラが欲しかったの
じゃろうが！
下の口から涎が溢れて玉袋
までべちゃべちゃやわい。



ンッ...

ングッ！
ン...



しっかり踏ん張らんか、
足が震えておるぞ。

もう腰が抜けそうか？

これでどうじゃ、少しは楽じゃろ。

ヒッ!

それにこの体位じゃと先程より更に深くマラが入るのじゃ。奥まで突きまくってヤルぞ。

ガッ

ほれ、ほれ

や、イヤ! 奥はダメ!

惣一郎とはこんなことは出来まい。ここまで奥を突かれるのは初めてか? 膣壁がキツイ程マラを絞め付けて来よるぞ。

トス

こんな激しいの初めてこれが同じセックスなの? 全然違う!

スゴイ突き上げ、奥まで響いて子宮が揺さ振られるみたい!

トス

ようやく気付いた様じゃな

な、何のことです？

ワシと言う強い雄との
性交を欲している
己自身にじゃ。

惣一郎とではけっして
味わえぬ本物の快感をじゃ！

そんなもの知りたく
もない！
私は惣一郎さんだけ
いればそれで十分。

アアアア

ハハハ

ちゅちゅ

ちゅちゅ

頑固な嫁じゃな
口では拒んでも
カラダはそうは
言っとらんぞ。

今もワシのマラを
締め付けて離そうと
しないではないか？

ではその言葉、
直接奴に聞かせてやる
とするかのう。



コレは腰に来るわい。

でかくて重い尻じゃ。



聞き分けの悪い女には少々強引な手を採らねばな。

ヨッコラせと!

何をじゃと?
まあ見とれお楽しみはこれからよ。

何をなさるんですか
お義父さまっ!

:駄目!
そっちは惣一郎さんが寝て:



愛しい旦那とご対面
じゃ、何をしとるかよーく
見て貰うんじやな。

ああ：

強いオスに抱かれ
喜ぶメスの顔、
これがお前の
在りのままの姿よ！

嘘、こんなの嫌：
こんな姿を見られたら：
言い訳出来ない。
私どうしたら…！

他の男に抱かれながら
亭主の顔に淫汁を滴らせ
ておろうが！

イヤ！



聞かれたくないなら
ワシが何とかして
やるぞ？

惣一郎もそんな艶声
聞かされては、さぞや
夢見も良からうて。

ぐちゃ



イヤよイヤよも何とやら
カラダはすっかりワシの
虜よ。

アツ：

イヤッ！

そくれもつと
滴らせよ。

アアツ！

ユサ ユサ

ポタ

ポタポタ…

惣一郎さんごめんなさい、
今はこうするしかない

あなたとの暮らしを
守るには、音無の一員
お義父さまの言い成り
になるしかないの…

お願い
起きないで、

間かされたく無い
この声を、

こんなわたしを
見ないで下さい。

淫らに乱れ狂う獣の様な姿を：

ちゅっ
ぐぐぐ
すっ
ちゅっ

ぐぐぐ
ぐぐぐ
ぐぐぐ

んぐっ…
んぐっ…
んぐっ…
んぐっ…

んぐっ…
んぐっ…
んぐっ…



んぐっ〜！
んんんッ！
んんんッ！

んんんッ！
んんんッ！
んんんッ！

ようやく観念したか、
余計な手間を掛けさせよって。
これでやつと種付けが出来る
と言うもの：

ついでじゃ臍腑の中も
ワシの汁で満たしてやる
わい。

よーく覚えておけ、
これがお前の真の主人の
味じゃ。
味わって飲み込め！

下の口にもたっぶり
注ぎ込んでやるわい。

さくてそれでは
本題といこうか、
お待ちかねの
子作りじゃ！

やはり種付けには
この体位が一番じゃな。

押さえ付けた女の尻に
思い切りマラを打ち込む
醍醐味。

アキョ アチャ

これが
本当の子作りじゃ！
雌の子宮に狙いを定め
魂を込めてマラを突き
立て
己の遺伝子を注ぎ込む、
正に男の本懐！

んふー
ふぐう！

我が命
受け取るが
よい！

ゆくぞ、
響子！

孕め響子！

とっ！とっ！

とっ！とっ！

子宮いっぱい
満たしてやる、
たっぷり喰らえ！

ヒギツ
！

ワシの児を孕め、
それがこの家に嫁いだ
お前の運命じゃ。
孕め、孕めっ、
孕めッ！



この女、苗床として申し分無いぞ。
良い跡取りが産めそうじゃ。
これで我が音無家も安泰じゃな。

惣一郎よ、
良い嫁を買ったな。



後は耕し収穫
するのみじゃ。

奥付 La Maison Vin trop jenué 2
我楽多屋
garakutaya0@gmail.com
2016/08/14 発行
印刷 (有)ねこのしっぽ 様

我樂多屋 GARAKUTA-YA

La Maison
vin trop jeune 2